

笠間高強度素地を利用した開発支援

【相手先企業】

モン・ラパン、笠間焼窯元

【目的】

笠間焼業界や消費者から笠間焼らしい製品を求める要望があり、笠間高強度素地を使った製品の支援を行った。

【内容】

笠間焼を使用した器で料理を提供したいという地元レストランからの申し出を受け、昨年度窯業指導所で開発した笠間焼高強度素地を使い、ディナープレート、サラダプレート、パン皿、コーヒーカップ、デミタスカップ、アイスクリームカップなどで、それぞれ用途に合う試作を行った。

【成果】

スプーンで容易に食事が可能な皿や、持ちやすい取手形状にした試作品を提供し、「月間食堂」(2004.10月号)に取り組みの様子が掲載されました。

現在は収納性や自動洗浄器での利用など業務用として使用可能かどうかについて検討を重ねています。

また笠間焼高強度素地の使用を希望する窯元へ素地の供与を行いました。笠間の土を使用していることで、消費者から良好な反応を得ることが出来たとの報告を受けました。



写真1：飲食店向け業務用食器



写真2：陶芸作家による作品への応用

基礎となった事業：試験研究指導事業（技術支援及び技術相談）

担当部署：窯業指導所 工芸技術部門 高機能素地の開発